

2022 年度
学校関係者評価報告書

日本福祉大学
中央福祉専門学校

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会

氏名	所属
村瀬 文康	一般社団法人 愛知県言語聴覚士会
吉田 貴宏	社会福祉法人 フラワー園 特別養護老人ホームあんのん
東俣 淳子	社会福祉法人 豊田市福祉事業団豊田市子ども発達センター
富田 力	社会福祉法人 同善福祉会

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：2022年12月16日（金）9：30～10：30、2023年3月27日（月）10：30～11：30

場 所：日本福祉大学中央福祉専門学校 会議室

5. 学校関係者評価方法

2022年度の自己点検・自己評価報告書に基づき、評価項目の結果および課題、改善 方策について評価を実施。

6. 学校関係者評価結果

1) 教育理念・目標

<自己点検・評価>

評 価 項 目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	学校の理念・目的・育成人材像は明確になっているか	④	3	2
社会情勢・ニーズに向き合った将来構想・計画を持っているか	④	3	2	1
上記のコンセプトや計画は広く社会に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標・育成人材像は福祉・医療機関等のニーズにマッチしているか	④	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

2) 学校運営

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	学校の目的等に沿った運営方針の策定状況	④	3	2
運営方針と事業計画の策定は連動・合致しているか	④	3	2	1
運営組織・意思決定の仕組みは規則等で定め、機能しているか	④	3	2	1
教務・校務の組織・意思決定システムの整備状況	④	3	2	1
業界・地域社会に対するコンプライアンス体制の整備状況	④	3	2	1
教育活動に関する情報公開は適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化は図られているか	4	③	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

3) 教育活動

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	教育課程編成と実施方針は教育理念等に基づいているか	④	3	2
教育到達目標や学習時間の確保は修業年限範囲内で適切か	④	3	2	1
学科のカリキュラム進行は体系的な編成か	④	3	2	1
実践的な職業教育を担保したカリキュラムや教授法であるか	④	3	2	1
関連する福祉・医療業界と連携した教育課程の点検状況	④	3	2	1
カリキュラム全体での実習科目の体系的な配置・実施状況	④	3	2	1
授業評価の実施・評価状況	4	③	2	1
職業教育の外部評価実施状況	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か	④	3	2	1
資格取得の指導はカリキュラムの中で体系化されているか	④	3	2	1
教員の確保は教育目標達成に適合し、適切に行われているか	④	3	2	1
教員の確保・配置は社会・業界連携の推進にも適合するか	④	3	2	1
教育力のアップデートに資する研修、指導実施体制はあるか	4	③	2	1
職員の能力開発は研修等で適切に行われているか	4	③	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

4) 学修成果

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	国家資格取得率の向上・改善は図られているか	④	3	2
就職率の向上は図られているか	④	3	2	1
退学率の低減は図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍や評価を把握しているか	4	③	2	1
卒後のキャリア形成への視点を持った教育活動の改善状況	④	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

5) 学生支援

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	進路・就職指導体制は整備されているか	④	3	2
学生相談窓口・体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う体制の整備状況	4	③	2	1
課外活動への支援体制（要望があった場合）	4	③	2	1
学生の生活環境に関する支援・相談体制	4	③	2	1
保護者・家族との適切な連携	④	3	2	1
卒業生への支援・適切な信頼構築	4	③	2	1
社会人学生のニーズを踏まえた教育環境の整備	4	③	2	1
高校（中学）との連携によるキャリア教育 *介護福祉士科	④	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

6) 教育環境

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	施設・設備は教育に必要な十分な整備・設置状況にあるか	4	③	2

実習施設は教育課程の要件を満たしているか	④	3	2	1
防災に対する体制・取り組みは適切か	4	③	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

7) 学生募集

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	学生募集活動は適切に行われているか	④	3	2
学生募集活動は教育成果や内容を適切に伝えているか	④	3	2	1
学納金の設定は妥当か	④	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

個のQOL向上が重要であり、自身のQOLを上げるための専門学校である、というアピールの仕方が良いのではないかと考える。高校生の進路は親が最終決定をするため、保護者向けのポロモーションビデオの作成、魅せ方を行うのも一つの手段であるとする。実績のある学校のSNS利用方法を模倣することは重要である。

オープンキャンパスや進路ガイダンスへの参加者は既に本学へ興味・進学を検討している層であるため、その他の層を狙うことが必要である。経営視点でいえば質よりも量から始めるべきであるため、SNSを活用した広報を行ったうえで、ある程度的人数の中からターゲットを定めていく手法も有効であるとする。

8) 財務

<自己点検・評価>。

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	中長期的な財務基盤を確保しているか	④	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当か	④	3	2	1
会計監査は適正に行われているか	④	3	2	1
財務状況の情報公開は適切に行われているか	④	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

9) 法令等の遵守

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	法令や設置基準等の遵守、適正な運営にあるか	4	3	2
個人情報の保護に関する対策・対応は適切か	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点改善の取り組みは適切か	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

10) 社会貢献・地域貢献

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	学校の教育資源・施設の地域社会への開放・貢献状況	4	3	2
学生のボランティア活動に対する奨励・支援状況	4	3	2	1
公開講座、教育訓練の受託等に積極的か	4	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

11) 国際交流・外国人留学生の受け入れ（介護福祉士科）

<自己点検・評価>

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	外国人留学生の受入は戦略・計画を持って行っているか	4	3	2
受入手続きや在籍管理は適切に行っているか	4	3	2	1
学修・生活に対する指導・支援体制は適切か	4	3	2	1
学修・受入の成果は社会に活かされ、評価されうるか	4	3	2	1

<学校関係者評価>

全項目について自己評価通りとする。

以上